

2018年度 JKSK 事業報告
＜2018年4月1日～2019年3月31日＞
認定 NPO 法人 JKSK 女性の活力を社会の活力に

＜2018年度事業報告＞

「女性の活力を社会の活力に」という JKSK の理念に基づき、JKSK 理事・会員自らが率先した行動力により進めている活動に対し、一般企業・団体・個人の方々からの温かいご支援を引き続きいただいております。

I. JKSK 会員とゲストの定例交流・勉強会 (JKSK サロン)

2018年4月 第138回 「シルクバイオの天空の国」 信田陽吉氏
2018年5月 第139回 「CSVリーダーの資質と育成」 黒田由貴子氏
2018年6月 第140回 「男性主導の父性文明から女性主導の母性文明へ」 村田光平氏
2018年7月 第141回 「地域共生社会」 色平哲郎氏
2018年9月 第142回 「異なる価値観を持った人々と如何に共存協働してきたか」 矢動丸純子氏
2018年10月 第143回 「世界の農村指導者を育てるといふ仕事」 荒川朋子氏

今年度より表参道の CTW の利用が出来なくなったこと、事務局体制の脆弱さなど、さまざまな要因により JKSK サロンは11月から休止中。今後については理事会で話し合い、来年度以降、多少形を変えて継続の予定。

II. JKSK-AUW (アジア女子大学) 連携プロジェクト

① AUW Annual Fundraising Event への参加

2019年3月14日(木) 於 東京アメリカンクラブ

② 第II期(2014~19)JKSK 奨学生への教育支援

JKSK 奨学生:5か国5名 (Azura Jawaid:インド、Lisha Subba:ブータン、Rakshinda Shakir:パキスタン、Sumaiya Sharmin:バングラデシュ、Susan Sitoula:ネパール)

教育支援期間:5年(アクセスアカデミー1年、大学4年)

@20万円×5名×5年間=500万円

平成30年度支援金は、平成30年2月に@20万円×5名=100万円送金(今回が第II期奨学生への最終送金)

2期10年にわたって行った AUW 奨学生への教育支援(I期につき5名)については、現状の JKSK の事務局体制などを考慮して第III期の奨学生5名の支援開始については、一旦凍結。今後の支援方法について、AUW 側と話し合いを継続中。2019年3月、今年度の予算から AUW へ¥1,000,000の寄附金を送金。

III. JKSK 結結プロジェクト

東京新聞との連携による「東北(まだまだ)復興日記」は2018年4月より2週に1回のペースで「SDGs 明日の東北へ」欄で掲載を継続。

IV. こんな生き方・・・女性100名山プロジェクト

女性の生き方ロールモデルがない…と迷っている女性たちに、素敵な生き方をしている女性たちのエピソードをお届けします。もちろん男性にとっても、刺激的な読み物になると思います。

この100名山には、マスコミによくあらわれるような有名人はいません。市井でしっかりと地についた活動をしている方、名を成すことや成功を目的とせず、一生懸命に「仕事や使命」に身を捧げている方たちの生き方の提示です。これらの記事に大いに刺激を受け取っていただきたい、というのがプロジェクトの始まりです。

① WEB マガジン リリース

第 11 号 (2018 年 4 月)

- 54 永田 潤子 迷ったら面白い方へ
- 55 長谷川 峰子 夢はかなうーインドリームに出会うまでー
- 56 堀 芳枝 女性の自立、途上国の自立を考えてきた 50 年
- 57 塩野崎 佳子 出逢いの点と点を繋ぐ～ご奉仕のお恵み～主婦ができること
- 58 上山良子 いつでも Re-Born! 最終章を迎えて (連載最終回)

第 12 号 (2018 年 9 月)

- 59 リップ 雅映子 自信を失うという 20 代を経て
- 60 室伏 香縁 和歌と漢詩の吟詠で人生を豊かに
- 61 藪本 亜里 未だ旅の途上にて～起こったこと、経験したことはすべてはよしとしよう...
- 62 濱田 静江 女性だからできること～そして、どんな未来を子どもたちにつなぐのか～

第 13 号 (2019 年 2 月)

- 63 徳永 洋子 社会を変えるファンドレイザーの皆さんとともに
- 64 山本 未生 世界があなたを通過する
- 65 山内 満子 一次産業を 100 年後につなぐ想い

② オフ会の開催

「100 名山 執筆者を囲んで語り合おう」という読者の要請に応じて開催

- 第 10 回 (2018.6.30) 中村真紀さん 講演会 開催
- 第 11 回 (2018.9.01) 高山恵子さん 講演会 開催
- 第 12 回 (2018.12.1) 堀芳枝さん 講演会 開催

V. 「働く女性の相談室」及び「働く女性のフォーラム」

① 「働く女性の相談室」: 100 名山オフ会、100 名山執筆者有志、理事会などのニーズ調査を経て開発。サイボウズ社の KINTONE をプラットフォームとする 安全に閉じたシステムで、相談者回答者が 1:1 でやり取りできる機密保持のしっかりしたシステムとして提供。サービススタート、2018 年 10 月。実績はまだなし。

② 「働く女性のフォーラム」: 同じ悩みを持つ人たちと、「その問題」について、話し合いたい人に提供する、オンライン・フォーラム 募集期間 2 週間、フォーラム機関 2 週間で開催し、終了後 概要を公表する。

相談室と同様、サイボウズ社の KINTONE をプラットフォームとする安全にとじた空間として提供。

第 1 回フォーラムを 11 月 20 日～12 月 18 日 に開催し、18 名の参加者を得、好評裡に終了した。

VI. 「働く女性の応援講座」

2019 年度から新規事業として、企業の女性管理職に対する「心身ともに健康で活躍できるための環境づくりと心身づくり」を醸成するための「働く女性の応援講座」～ストレス耐性の環境・心身づくり～のための講座を当 NPO の賛助会員企業向けに行っていくものです。今後企業・団体賛助会員にお申込みいただいた各企業のニーズに合わせた内容を提供していく予定です。2018 年 10 月のキックオフ・ミーティングを経て、既に 2018 年度から 1 社から企業・団体賛助会員のお申込みをいただいています。

以上